

にのへ 市議会だより

53号

令和元年
11月15日発行

9月定例会 — CONTENTS —

- 定例会及び決算の概要・・・・・・・・・・・・・2
- 決算特別委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 補正予算など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 審議結果、賛否の公表・・・・・・・・・・・・・・・10
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

令和に響け！太鼓の音色 「桜が丘陣太鼓」
仁左平小学校4・5・6年生の児童の皆さんと指導者の柴田氏 学習発表会に向けての総練習にて



9月
定例会

平成30年度決算全9会計を認定

実質収支は6億8161万円の黒字

9月定例会は、9月10日から10月2日までの23日間開かれ、本会議や委員会などで活発な議論が交わされました。

審議の結果、市長より提出された平成30年度決算認定9件と、補正予算案等の議案14件が原案のとおり認定・可決されたほか、議員提出の意見書案3件のうち2件が可決されました。

一般質問では9人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について市の考えを質しました。

決算の概要

平成30年度の一般会計と各特別会計の歳入歳出決算を総括すると、歳入決算総額は前年度に比べ6・34%減の224億8030万円、歳出決算総額は6・41%減の216億8895万円となつて

ています。

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は7億9134万5千円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源1億973万3千円を差し引いた実質収支は6億8161万2千円の黒字となっています。また、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は562万9千円の黒字となっており、これから積立金や繰上償還、基金取崩額を勘案した実質単年度収支は3億9067万6千円の赤字となっています。

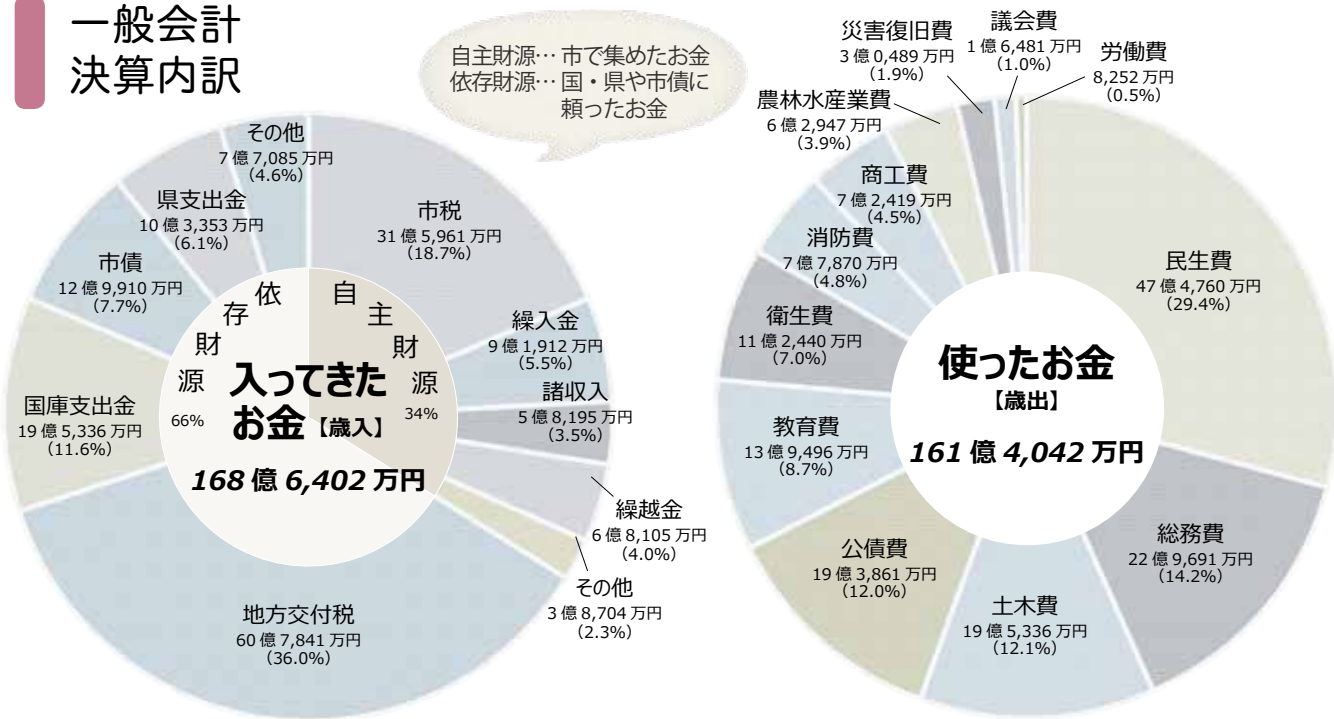
会計別決算状況

区 分			歳 入	歳 出	差引額
一般 会 計			168 億 6,402 万円	161 億 4,042 万円	7 億 2,360 万円
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	30 億 2,282 万円	30 億 843 万円	1,439 万円
		診療施設勘定	2 億 7,512 万円	2 億 7,510 万円	2 万円
	下水道事業		7 億 7,519 万円	7 億 5,836 万円	1,683 万円
	生活排水処理事業		6,696 万円	6,625 万円	71 万円
	簡易水道事業		9,397 万円	9,215 万円	182 万円
	土地区画整理事業		10 億 7,781 万円	10 億 4,475 万円	3,306 万円
	介護サービス事業		139 万円	135 万円	4 万円
	後期高齢者医療		3 億 302 万円	3 億 214 万円	88 万円
計			224 億 8,030 万円	216 億 8,895 万円	7 億 9,135 万円
区 分			収 入	支 出	差引額
水道事業会計	収益的収支		7 億 4,201 万円	5 億 9,680 万円	1 億 4,521 万円
	資本的収支		6 億 4,649 万円	9 億 945 万円	△ 2 億 6,296 万円
		不足額 2 億 6,296 万円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税資本的収支調整額で補てんしています。			

※端数処理のため計が一致しない部分があります。

一般会計歳出額は 161 億 4,042 万円

一般会計
決算内訳



一般会計の
主な使い道

こんな事業に
使われました

民生費 （高齢者、児童など） 福祉にかかるもの		総務費 （情報管理、市バス運行、ま） ちづくり、職員人件費など	
47 億 4,760 万円		22 億 9,691 万円	
・ 病児等保育事業 2,200 万円		・ 公民連携まち再生事業 4,218 万円	
・ 地域包括支援推進事業 1,355 万円		・ いわてカシオペアブランド発掘 発信事業 549 万円	
土木費 （道路や河川の整備・） 維持にかかるもの		教育費 （小中学校、学校給食、社会） 教育事業などにかかるもの	
19 億 5,336 万円		13 億 9,496 万円	
・ 道路新設改良舗装事業 4 億 6,920 万円		・ 小中学校文化・体育大会出場費 補助金 1,288 万円	
・ 新規街路整備橋梁予備設計業務 委託料 2,383 万円		・ 史跡九戸城跡環境整備事業 1,085 万円	
消防費 （消防活動、消防施設整備） などにかかるもの		商工費 （観光イベント、漆振興、） 企業誘致などにかかるもの	
7 億 7,870 万円		7 億 2,419 万円	
・ 防災行政無線等整備事業 1,199 万円		・ 漆振興事業費 1 億 4,694 万円	
・ 防災体制充実事業 283 万円		・ 観光地づくり推進事業 3,388 万円	
		農林水産業費 （農地整備、農家支援） などにかかるもの	
		6 億 2,947 万円	
		・ 農業農村直接支払事業 1 億 5,027 万円	
		・ 県営担い手育成畑地帯総合整備事 業負担金 2,101 万円	



お金の使い道をチェック！

決算特別委員会

全議員で構成する決算特別委員会では、委員長に駒木 昇議員が、副委員長に田口 一男議員が選出されました。

委員会と所管の分科会において詳細にわたり審査をした後、最終日に各分科会の報告を受けて採決が行われました。特別委員会において審議し採決した結果、平成 30 年度一般会計と 7 つの特別会計、水道事業会計の計 9 会計、全ての歳入歳出決算を「認定すべきもの」として決しました。



本会議での質疑

30 年度 決算 全体

決算の総括

問 昨年度の特徴的な事業とその成果は。

答 地方創生事業として広域観光物産センターと滴生舎をリニューアルした。公民連携まちづくり再生事業は九戸城跡周辺、金田一温泉周辺、天台寺の 3 地区周辺を拠点とし整備を始めた。金田一温泉周辺地域の事業化に向けたまちづくり会社の設立や調査、また設計を進めているところである。さらに、子ども子育て支援事業の充実を図り、小児科医院と連携した支援サービスの提供を始めた。

問 今後基金残高が減少していくと弾力的な財政運営が難しくなるのでは。

答 交付税が減少される一方で社会保障関連経費や特別会計繰出金の増加

が想定される。有利な補助金・起債活用に取り組み、公民連携も図りながら健全財政に努め、住民福祉の向上を図る。

30 年度 一般会計 決算

安心して暮らせるまちづくり

出生数の激減、格差や貧困問題の対策や解消策は。

答 小児科医を誘致した病児保育、児童クラブによる子育て支援、教育分野では就学援助の拡充、全国大会への特別補助を行った。保育料軽減も貧困対策の一端である。学校が貧困解消に大きな役割を果たすことから、学力アップなどソフト面での対策を工夫してまいりたい。

収納率向上

滞納の処分方法は。

答 基本的には納付いたくよう徴収努力している。税金以外については債権管理計画を策定し、それぞれの制度

に則り適切に滞納処分を行っている。

公共交通利用実態調査

問 利用者は少なくともバスのニーズがあることを把握しているか。

答 数値的には少なくとも個別の要望をふまえながら、デマンド交通や循環バスの路線について検討し、公共交通計画を策定していききたい。

老人生きがい対策費

問 予算が足りず敬老会の開催ができない地域がある。公的施設使用料を免除できないか。

答 それぞれの町内会が工夫し予算縮減しながら開催している。予算不足は会場や準備をする人がいなくなったのが原因とのこと。地区をまとめるなど工夫が必要かと思う。

30 年度 国民健康保険 特別会計 決算

医療費削減

問 医療費全体の削減のため、お薬手帳の重複所有や「かかりつけ医」以外のかけもち受診をしないよう指導が必要では。

答 薬剤師会、医師会、歯科医師会の協力により、投薬の際に声がけしたり、薬の飲み残しや複数受診をしないよう市からの通知書に記載して、医療費削減に努めている。

問 二戸市は県の中央部に比べ 1 人あたりの医療費が少ない。国保の県内統一をした場合には保険税の値上げ等不利益が生じるのでは。

答 国保の県内統一は、県が市町村ごとの意見を聞いたうえで行うものである。それぞれの国保会計が健全であること、医療費が違い不利益を被らない状態にすることが必要である。

総務分科会

30年度一般会計決算

自主防災組織率

問 30年度目標値の達成度は。

答 30年度の目標値は65%である。24年度から順調に組織化が進んでいたが、28年度2団体、29年度1団体、30年度無しとなっており、現在の組織数は43団体、55・3%である。町内会での説明会や出前講座等で努めながら、組織化が図られるよう努める。

市バス運行事業

問 30年度バス利用目標値に対する実績は。

答 循環バスの年間利用者数目標3千人に対して実績は5651人、コミュニティバスの利用者は3万4500人に対して約2万4600人である。コミュニ

ニティバスの利用が下回っているのは人口減少の影響によりダイヤを減らしたことが原因になっている。一方で循環バスの利用は増えているので、どうあるべきか検討の余地がある。アンケート調査及びバス停別の調査を行っており、今年度は地域交通網形成計画の策定を予定している。

公民連携まち再生事業

問 これまでの金田一温泉センターに対する検証は行われたのか。

答 金田一温泉を先行して進めている。エリア全体として稼げるようにしていこうと30年度に検討を行っている。今までにある地域資源や地元農家との連携、新たな楽しみ、人を呼び込むための仕掛けなどを考えてきた。

現在も継続的にワークショップや地元の人

との話し合い、新しい楽しみの可能性試験、これまでのイベントの見直しなどを行っている。過去の実績を検証しながら、これまでとは違う取り組みを加えなければ、集客は難しいと思う。新たな仕掛けをどのように組み込むのか、検証しながら事業を進めている。来訪者は一定程度棲み分けされながら、新たな施設と既存の周辺施設の相互が維持されていくことが望ましいので、ソフト的な仕掛けが必要だと思っている。



カダルテラス金田一のイメージ

文教福祉分科会

30年度一般会計決算

児童虐待・DV対策等

総合支援事業費補助金

問 認知件数と現在支援中の件数は何件か、DVのシエ

ルターは市内にあるのか。

答 30年度は、DVについては11件、虐待については10件で、兄弟の方がいるので合わせて20人であった。1件はシエルターに避難させたケースもある。二戸市にはシエルターがないので盛岡の児童相談所に緊急時は連携して避難をさせている。

健康マイレージ事業

問 現時点で行った成果をどのように捉えているのか。

答 健康マイレージ事業に関しては、平成29年度から3年間の予定で試行している。ほかの受診率向上事業とも絡めたこともあるが、受

診率向上に一定の成果があったのではないかと考えている。

学校給食

問 食物アレルギーを持つ児童生徒の人数的な推移はどうか。

答 27年度からの推移で27年度が61人、28年度が72人、29年度が80人、30年度が88人と増えてきている。

育英資金

問 活用の実態はどうか。

答 平成30年度においては、勉強意欲がありながら経済的に就学が困難な60名に対して育英資金を貸し付けている。平成29年度より育英資金内容を見直し、貸与金額の増額や入学一時金の創設、最長12か月の返還猶予期間や定住化の促進に係る返還の免除等を創設している。地元就職した場合には4分の1以内の返済

免除を行うことにより、市内大型店やプロイラー関係等の企業に就職している。少なからず地元定着には寄与していると思っている。

中学生の海外派遣研修

問 イギリスのグラスゴーにずつと行っているが、今後について他の行き先を検討しているか。

答 グラスゴーに関して田中館愛橋博士の功績を追うということで、平成24年から続けているが、今後においては、まずは教育委員会内である程度検討を重ねながら、研究させていただけだと思っている。



中学生の海外派遣研修の様子

産業建設分科会

30年度一般会計決算

非農地の状況

問 耕作面積の状況は。

答 非農地かどうかは農業委員、農地利用最適化推進委員が現場を見て判断する。市の農地台帳面積5540ヘクタールの内、969ヘクタールが作付けしていないとの結果だが、回答率65%であり、実際はもっと多いと考える。貸し手と借り手を探す取り組みを「人・農地プラン」の見直しの中で進めていきたい。

漆の目標生産量

問 目標生産量2・2トに対する見通しは。

答 30年度は、1・2ト、元年度は1・4トの漆生産を見込んでいます。以前の調査で採取可能本数は市内に14万2千本ということだが、採取可能な樹齢に達しない

い原木も含まれており、平成29年度より苗木生産を始め、2万本程の出荷を目指す。苗木を含めた原木の確保に取り組んでいく。



今年の浄法寺漆共進会での漆樽

市単独新規就農者支援対策事業

問 対象者拡大の状況は。

答 30年度に市単独事業を改正。対象年齢を拡大し、朝夕、休日は親元で働くことを認めることにして親元就業も可能にし、1名が技術を身につけている。

橋梁補修

問 長寿命化の進捗状況は。

答 橋梁補修で、市内173橋の内、補修が必要なレベル3に該当してまだ残っている15

以上の橋は5橋。ここ数年は斗米橋を重点に進める。5年ごとに点検をし、補修工事を進めている。

30年度下水道事業特別会計決算

問 普及率向上対策は。

答 事業を継続させていくためには、使用料の確保が重要であり、30年度に下水道の接続率向上の切り札として「水洗トイレリフォーム補助金」をスタートした。PRをし、積極的に進めていきたい。

30年度生活排水処理事業特別会計決算

問 浄法寺地区の浄化槽の公費設置終了は。

答 30年度末で普及率は浄法寺地区全体の6・4%。今年度で公費設置型の浄化槽整備が終了する。今後は個人に対して補助金を交付する個人設置型に一本化される。

討論

決算認定分



認定第1号 30年度一般会計決算

反対

田口 一男 議員

成功例の少ないとされるPFI事業への対応、その後の追加予算編成など公民連携まち再生の行き先に不安を覚える。また、昨年の体育施設指定管理委託の私的流用問題もいまだに市民に説明がないことへの行政不信の声などあることから反対討論とする。

賛成

内沢 真申 議員

公民連携まち再生事業で、まちづくり会社の設立や事業計画が策定され、今年度以降に温泉センターの解体や建設、都市公園整備が行われる。市民協働や公民連携による行政と民間のパートナーシップが育まれることを願う。全体を通じて適正に予算執行されたことを評価し、さらに前進することを望み賛成討論とする。

認定第2号 30年度国民健康保険特別会計決算

反対

畠中 泰子 議員

昨年の国保税の引き下げは評価するが、いまだ多額の収入未済がある。ペナルティの資格証、短期保険者証の交付をせず、きめ細やかな納税相談をする基本姿勢を確立していただきたい。財政調整基金を活用し、子供の均等割の免除を行い、国保世帯の暮らしと福祉を守る手立てに転換することを求めて反対討論とする。

決算認定以外など

議案第4号 二戸市特定教育・保育施設及び特定地域別保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

反対

畠中 泰子 議員

給食という保育の中での重要な営みを保育料無償化の中で副食費を実費徴収するのは大きな問題。認可保育所など公的な保育整備をする努力よりも保育行政の後退となる法改正は問題で、規制緩和と免除はやってはならないとの立場から反対する。

議案第5号 特定公園施設の建設に係る費用負担に関する協定の一部を変更する協定の締結について

反対

畠中 泰子 議員

人工木のウッドデッキやプールの過器の交換、杭の撤去等の追加が提案された。PFIの取り組みについては当局の考え方が定まらず、予算を含めた政策検討がきちんとされたか疑問である。屋外トイレの設置は了とするが、今回変更が出されることに苦言を呈し、認められないという立場から反対する。

賛成

岩崎 敬郎 議員

屋外トイレ必要性の議論があり、当局で検討を進めて結論を出し変更に至ったもので、議会の提案を受け入れたことを評価する。杭の引き抜き、ウッドデッキも検討し、市民、市外の皆さんが活用するときに快適な状況をつくるのが一番いいと思うので賛成討論とする。

決算認定以外の
主な議案

条 例

二戸市印鑑条例の一部を改正する条例

可決

住民基本台帳法施行令等一部改正により、印鑑登録の記載事項に旧氏併記が可能になったことに伴い、所要の改正をしようとするものです。

補正予算

令和元年度一般会計補正予算（第4号）

可決

◆補正額 6億1267万円

【主な内容（歳出）】

・財政調整基金積立金

3億5000万円

地方財政法により繰越金2分の1以上を積立

・文化会館管理費

531万円

屋外喫煙所設置2か所分など

・児童扶養手当等支給費

3005万円

・保育事業委託費

4457万円

幼児教育無償化に伴う扶助費増

・保育所管理費 942万円

幼児教育無償化に伴うシステム改修費
・農業経営基盤強化推進事業費 925万円

産地パワーアップ事業費補助金・いわて型野菜トップモデル産地創造事業補助金

・道路維持管理補修事業費

1億3121万円

除雪事業に係る費用

令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

可決

金田一診療所への電子カルテシステム導入や浄法寺診療所の修繕にかかる経費などです。

◆事業勘定補正額 1439万円

◆施設勘定補正額 284万円

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

適任

次の委員について適任とする答申をしました。

【人権擁護委員】

二戸市浄法寺町 姉帯富貴子 氏

二戸市浄法寺町 漆田 健一 氏

議員発議

可決された意見書2件は、関係行政機関へ提出しました。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

可決

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要であり、新たな過疎対策法の制定を政府に強く要望するものです。

若い人も高齢者も安心できる年金制度にすることを求める意見書

否決

現在の基礎年金（国民年金）は満額でも6万5千円で、憲法25条の「健康で文化的な生活」にはほど遠く、そこから医療・介護保険料が差し引かれて可処分所得が減り続け、高齢者の貧困が広がっている状況で、国民が真に安心するため年金制度の改善・底上げを図ることが不可欠となっている。このことから若い人も高齢者も安心して生活できる減らない年金制度へと改善することを国に強く求めるものです。

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

可決

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合の復元を国会及び政府に求めるものです。

請願・陳情のしかた

市政に要望がある時は、市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

＜ 請願と陳情のちがいは ＞

- ・請願は紹介議員の署名または記名・押印が必要です。
- ・陳情は紹介議員を必要としません。

＜ 請願・陳情の取扱い ＞

- ・請願と市内の方が提出した陳情は市議会で審査し、採択の場合は関係機関へ送付します。
- ・市外の方からの陳情は、市議会より議員に配付します。

＜ 記載していただく事項 ＞

- ①提出年月日
- ②提出者の住所・氏名（団体の場合は名称、代表者の住所、氏名）・押印
- ③請願・陳情の要旨、理由
- ④請願の場合は、紹介議員1人以上の署名または記名・押印

＜ 記載例 ＞

（表紙）
請願（陳情）書
〇〇〇〇について
紹介議員 氏名 〇〇〇〇 印
※陳情の場合は表紙は必要ありません。

（本紙）
平成 年 月 日
二戸市議会議長 様
請願（陳情）者の住所 氏名 〇〇〇〇 印
〇〇〇〇〇〇について
請願（陳情）の要旨
請願（陳情）の理由

本会議での質疑

二戸市印鑑条例の一部を改正する条例

問 性別の記載を不要とする検討はしないのか。

答 条例で決められるが、国から印鑑登録証明事務処理要領が发出されており、これに基づき手続きを定めている。性別の記載が不要な自治体があることは承知しているが、要領がどのような改正になっていくかも含めて、今後研究していく。

元年度一般会計補正予算（第4号）

文化会館管理費修繕料

問 修繕料が29万2千円計上されているが、指定管理の契約では30万円以下は指定管理料からの支出ではないのか。

答 この修繕は全体で79万2千円の修繕であり、当初50万円を予算化していた。今回の補正は現在の予算との差額分として、29万2千円をお願いするものである。

市民協働除排雪支援事業費

問 浄法寺地区で子どもやお年寄りが通道の多くは除雪は行われるが排雪が行われない。状況が悪くなっているから市がようやく排雪する形になっているが、排雪も業者委託にできないのか。

答 基本的には、まずは除雪と考えている。排雪は地域の方々に協力いただいている現状だが、排雪がなかなかできない点も含めて検討すべき余地が残っていると捉えている。

工事請負費（屋外喫煙所設置）

問 天台の湯の屋外喫煙所がイベント等でテントを設置する場所のすぐそばにある。国は特例に基づく喫煙場所を推奨しておらず、例外的に認めているものだが、この場所の問題ないと思うか。

答 健康増進法では、第2種施設については建物内を禁煙とすることとしている。よって正面玄関から離れた場所、しかも利用しやすい場所として検討した結果、その場所としたものである。



市役所本庁の裏手に設置された屋外喫煙所

総務常任委員会

二戸市印鑑条例の一部を改正する条例

問 旧氏の選取について旧氏が何度かわわって一つだけでない方はどうなるのか。

答 旧氏の中から使いたいものを選択することができ。何度か氏に変更があった人がこれまでの活動、社会生活に合せて氏を選ぶことができるようになる。その旧氏が公証されるようになるということである。住民票に旧氏を併記する手続きを行い、旧氏が確認できる戸籍謄本を添えて請求すれば、その人の住民基本台帳に旧氏が併記される。それに連動してマイナンバーカード、印鑑登録原票に旧氏が併記されるものである。



出典：総務省ホームページより

元年度一般会計補正予算（第4号）

二戸市移住支援金

市内の登録企業は。起業支援の内容は。

答 市内で移住支援金対象法人として登録になっているのは4社である。支援対象者の要件には東京23区の在住者又は東京23区への通勤者（直近5年以上）というものがある。これとは別に県が行う起業支援事業があり、県内で地域の課題解決を目的とした社会的事業を新たに起業する方に、対象経費の2分の1（最大200万円）を補助するものもある。

会議録を公開しています

本会議の会議録は、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館、浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。平成18年度以降の会議録は二戸市議会ホームページから閲覧・検索することもできます。

一般質問をラジオで放送しています

定例会の一般質問は、カシオペアFM（周波数77.9MHz）で録音放送をしています。

放送日程は、二戸市議会またはカシオペアFMのホームページでご確認ください。



文教福祉
常任委員会

二戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

10月からの幼児教育・保育の無償化

問 副食費や保育料に問題点が出てくるのではないかと。

答 副食費や保育料については、今後策定する子ども・子育て支援計画の中で検討していきたいと思っている。

元年度一般会計
補正予算（第4号）

児童扶養手当等支給費

問 児童扶養手当の支払い回数が変わるのか。

答 これまで児童扶養手当については、4か月分を年3回の支払いだったものが、今年度から2か月に1回の支払いになったものである。

元年度国民健康保険特別会計
補正予算（第3号）

浄法寺診療所の雨漏りについて

問 ほかには直すべきところがあれば改修の必要があると思うが、どういう状況か。

答 浄法寺診療所は昭和47年築で、建物自体は大分古いものになる。今回点検をして緊急を要するものとして、雨漏りの改修ということとで補正をお願いしたが、今現在で他に緊急を要する改修箇所はない。



浄法寺診療所

産業建設
常任委員会

特定公園施設の建設にかかる費用負担に関する協定の一部を変更する協定の締結について

問 金田一近隣公園施設の建設に関する協定の増額変更の理由とは。

答 大きく3点あり、①プールのろ過器は移設して利用することとしていたが老朽化しているので新しいものにする。②ウッドデッキは、景観等から天然木を使用することにしていたが耐久性、事故防止の点で人工木に変更する。③新センター内のトイレを共用することと考えていたが、公園利用者の利便性を考え、屋外トイレを新設することとしたもの。ろ過器の変更増分は約2330万円、ウッドデッキの増分は約2180万円、屋外

トイレは約2970万円、これに伴う工事の変更で約440万円、合計約7930万円となる。



温泉センター解体時の様子

元年度一般会計
補正予算（第4号）

除雪管理システム委託料

問 GPS（全地球無線測位システム）の活用は。

答 今年度は、試験的に市が貸与している機械に設置する。いずれ全業者に導入したいと考えている。現在はアワーマーターにより、除雪の稼働時間を把握しているが、この機械はもう作られていないためである。

討論

決算認定以外



発議第2号 若い人も高齢者も安心できる年金制度にすることを求める意見書

賛成 田口 一男 議員

5年に1回の年金財政を分析する財政検証の結果、物価や賃金が上がっても年金額が増えず、実質的な水準が下がるマクロ経済スライドに多くの批判が高まっている。100年安心の年金制度と強調しているが、年金支給額を減らせば100年続くということである。国民全てが真に安心できる年金制度に改善すること強く求め賛成討論とする。

反対 岩崎 敬郎 議員

国は1千兆円もの借金を抱えている財政の問題があり、国が破綻し、日本がなくなったらどうするのか。今後補助費がもっと高くなり、全体的なことを考えなければならぬ。全体が変わらなくても今余計にもらえればよい、今少なくとも将来余計にもらえればよいという考え方は好ましくないので反対する。

議員と意見交換しませんか？

議会の出前を始めます！

二戸市議会では、「議員との意見交換会・議会報告会」を開催していただける市内の団体を募集しています。希望するテーマに応じて議員を派遣します。日頃感じている市政への要望や提案などを、この機会にぜひお聞かせください。詳しくは二戸市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。



【審議結果】

議案番号等	議案名等	審議結果
議案	1 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決（全員賛成）
	2 二戸市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	3 二戸市印鑑条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	4 二戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
	5 特定公園施設の建設に係る費用負担に関する協定の一部を変更する協定の締結について	可決（賛成多数）
	6 平成30年度二戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決（全員賛成）
	7 令和元年度二戸市一般会計補正予算（第4号）	可決（全員賛成）
	8 令和元年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全員賛成）
	9 令和元年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
	10 令和元年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	認定（全員賛成）
	11 令和元年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	認定（全員賛成）
	12 令和元年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	認定（全員賛成）
	13 令和元年度二戸市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	認定（全員賛成）
	14 令和元年度二戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	認定（全員賛成）
認定	1 平成30年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	2 平成30年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	3 平成30年度二戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	4 平成30年度二戸市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	5 平成30年度二戸市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	6 平成30年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	7 平成30年度二戸市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	8 平成30年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	9 平成30年度二戸市水道事業会計決算の認定について	認定（全員賛成）
諮問	1 人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
	2 人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
報告	1 株式会社カダルミライの経営状況について	報告
	2 株式会社カダルエステートの経営状況について	報告
	3 平成30年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について	報告
	4 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について	報告
	5 二戸市水道事業会計継続費の精算報告について	報告
請願	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願について	採択（賛成多数）
発議	1 新たな過疎対策法の制定に関する意見書	可決（全員賛成）
	2 若い人も高齢者も安心できる年金制度にすることを求める意見書	否決（賛成少数）
	3 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担金制度拡充に係る意見書	可決（賛成多数）

賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です

議案名	1 新 畑 鉄 男	2 三 浦 利 章	3 高 村 人 司	4 石 輪 成 人	5 沼 井 賢 壮	6 小 田 島 行 伸	7 畠 中 泰 子	8 田 口 一 男	9 駒 木 昇	10 米 田 誠	11 出 堀 満 則	12 内 沢 真 申	13 國 分 敏 彦	14 岩 崎 敬 郎	15 田 中 勝 二	16 菅 原 恒 雄	17 小 笠 原 清 晃	18 田 代 博 之
議案第4号 二戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○
議案第5号 特定公園施設の建設に係る費用負担に関する協定の一部を変更する協定の締結について	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○
認定第1号 30年度一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○
認定第2号 30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○
認定第6号 30年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○
認定第8号 30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○
請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	○
発議第2号 若い人も高齢者も安心できる年金制度にすることを求める意見書	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×
発議第3号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担金制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	○

※議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対

市政を問う！

9人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたる事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。

本定例会では9人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。

岩崎 敬 郎 議員 P 11

1. まちづくりについて その③
 - ① 観光について
 - ② カーリング場について

内 沢 真 申 議員 P 12

1. 地域コミュニティの活性化について
2. 地球温暖化対策の取り組みについて

國 分 敏 彦 議員 P 12

1. プログラミング教育について
2. 農林業と誘致企業への今後の取り組みについて

米 田 誠 議員 P 13

1. 成年後見制度の利用促進について
2. 特定健診受診率の向上対策について

田 口 一 男 議員 P 14

1. 高齢者・心身障がい者等の支援について
2. 農業次世代人材投資資金の削減について

小田島 行 伸 議員 P 14

1. 浄土寺診療所の常勤医師について
2. 旧岡本小学校跡地の今後について

新 畑 鉄 男 議員 P 15

1. 異常気象による農産物の状況について
2. ドローンの活用について
3. 市内飲食店、小売店の現状について
4. コミュニティバス運行について

高 村 人 司 議員 P 16

1. 小中学生の活躍に対する報奨制度について
2. 市内の記念碑等の管理について
3. 町内会、自治会と行政の関わりについて

畠 中 泰 子 議員 P 16

1. 名ばかりの保育の無償化への対策
2. 子どもの医療費助成制度の拡充
3. 暑さ対策



岩崎敬郎 議員

長嶺地区にカーリング施設を

荷渡地区が適地と考えている

問 サップロビールホップ管理センター跡地の場所に建設するのはいかがなものか。

答 市長 荷渡地区は、文化施設やスポーツ施設などが集中し、新たな交流拠点となりつつあり、従来のスポーツ施設としての位置づけにおいても、多様な交流を生む交流施設として考えても、域内、域外の交流促進に加え、市民の健康増進、コミュニティ

醸成に資するとするカーリング場のコンセプトに合致している。広域的なアクセスのよさや他施設との連携等にメリットがあることから、サップロビールホップ管理センター跡地が有力な候補地であると考えている。

観光案内所について

問 なぜ二戸駅の観光案内所は来市したお客

答 市長 どのような形での整備が望ましい

のか、JR東日本盛岡支社とも協議を行いながら進めてきた。JR二戸駅の旧ビュースタンド跡地と3階の二戸市観光協会の2カ所を候補地として検討を行った。二戸駅のスペースについては、駅利用者の利便性は向上する一方で、平日は案内所の利用が少なく見込まれること、土日も開設するため多くの人員を配置する必要があること、スペースの広さが限られることなどの課題が挙げられた。

なにやーとについては、二戸駅からの距離は遠くなるが、平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用し、観光拠点となる施設としてリニューアルしたところであり、3階のトリコラボには無料WiFiや電源設備を設けるとともにお客様が休みながらゆっくりとできるスペースを整備していること、ここに入居している二戸市観光協会は合併や人員配置の増員などにより観光推進事業を強化してい

ることが挙げられている。お客様が利用しやすい環境や費用対効果も含めて検討した結果、なにやーと3階に観光案内所を整備することと判断し、設備の標準化にも対応した案内所を本年4月から開設したところである。



二戸駅なにやーと3階トリコラボ内にある二戸市観光案内所



内沢 真申 議員

問 地域コミュニティ活性化に対する取り組みの実績は。機能維持や継続に向けた方向性はどのようなものか。

答 市長 市民協働による支援制度の活用状況としては、町内会等地域づくり事業補助金や地域コミュニティセンター整備事業費補助金、自主防災組織活動補助金、地域敬老会支援事業、市民協働道路整備事業、市民協働除排雪事業、市民団体ふるさとづくり活

地域コミュニティ機能維持への対応策は

活動の維持を前提に検討

動補助金、若者元気づくり交付金など新たな地域活動や若者の発想を生かした取り組みについても支援してきた。

コミュニティの中心を支えているのは人であり、一般的にはリーダーとなる人材がいる町内会や組織は元気で前向きな活動が行われると思っているが、これまで地域を支えてきていた方々が高齢化してきていることで、運動会や敬老会など頑張ってきた活動も

継続が難しくなり、中止せざるを得ない町内会も見られるため、存続に向けた相談等を行うなどの対応が今大切なことではないかと思っている。コミュニティの活動区域をさらに大きな区域として小学校区や中学校区の範囲に拡大するなど、コミュニティ活動の維持を前提に対応を検討していく必要があると考えている。



浄法寺の大清水人形まつりに向けて準備の様子

地球温暖化対策について

問 環境への配慮に関する取り組みの構想はどのようなものか。

答 市長 二戸市総合計画において環境にや

さしいまち、ごみ減量化に取り組みまちを掲げ、自分ができる環境負荷を抑える取り組みを推進するとともに、再生エネルギーの活用やエネルギーの地産地消などを目指している。二戸市環境エネルギー政策推進ビジョンを平成29年6月に策定し、市民生活及び事業活動におけるエネルギー利用の効率化の取り組みや再生可能エネルギーを最大限活用した地産地消の取り組みを進め、災害に強く、持続可能で低炭素な環境エネルギー社会の実現に向けて取り組みを進めていく。



國分 敏彦 議員

問 農林業の問題点はどこか。誘致企業・農

答 市長 本市の基幹産業である農林業を

農業従事者の取り組むべき点は

競争力確立のため農地集積や組織化を

スト高になっている。園芸においては収穫期を中心とした安定的な労働確保が必要である。畜産においては子牛価格の高値推移による

競争力のある農業を確立するため、担い手への農地集積や地域における組織化、法人化などを進めることが肝要となっている。



ほ場整備の行われた浄法寺川又地区

る予定となっている。残り3校のうち1校が2年生から6年生、もう1校が4年生以上、残り1校が5、6年生で実施する予定となっている。教科は国語、算数、理科、図工、総合的な学習の時間、学級活動、文化系のクラブ活動等での実施を予定している。教育委

取り巻く環境は、担い手の減少や高齢化、流通のグローバル化など、大変厳しい状況に直面していると認識している。生産者においては、受け継いできた高い技術を生かしながら、売れる商品づくりに頑張っていた。水稲においては小規模兼業経営によりコ

素牛導入のコスト増が悩みの種になっている。林業においては森林所有者の経営意欲の低下等が挙げられると思っている。農業では、高齢化が進む中で新規就農者を初めとする担い手の早期定着に向け技術や農地などの資源を継承していく取り組みが必要と思っている。

誘致企業への取り組みについては、市内19社を訪問したが、各社の課題解決を支援できるよう努める。業種により抱えている課題は多様であるが、全体的には企業努力により業績を維持あるいは拡大していると感じた。

プログラミング教育

問 小学校必修化において対象となる学年・教科はどうなるのか。

答 教育長 学年、教科等については各学校に任せている。市内の小中学校では2020年度、8

員会として、学習用ソフトのアップグレードやプログラミング用アプリの更新などのサポートを行う。



米田 誠 議員

問 後見人の育成と今後の取り組みについて。

答 市長 成年後見制度を利用した人が資格や地位を失う各種法律の欠格事項を原則削除する一括法案が本年6月に可決、成立した。市としても、今後相談者や申し立てが増えることが予想される。カシオペア権利擁護支援センターや関係町村と連携をして、体制強化に努めている。法人後見は、単独受注が可能なのから、社会福

市民後見人育成の取り組みは

11月から25名をめどに養成研修を実施

社法人が法人後見に取り組んでいただけよう協議を進めている。今後、受任体制強化に努めていく。後見人の育成については、二戸管内では、受任件数を増やすことを目的に、平成26年度、27年度の2力年で26名の市民後見人を養成し、その後毎年スキルアップを目的にフォローアップ研修を行っている。今年度11月から、市民後見人25名をめどに養成研修を実施することとしている。

今後も、市民後見人の育成に努め、全市民が住みなれた地域で自分らしく安心して生活が続けられるように取り組んでいく。



NPO法人カシオペア権利擁護支援センター（石切所川原）

特定健診の受診率

問 受診率向上に向けての取り組みは。

答 市長 これまでの受診率は、国の平均受診率を上回っているものの県平均受診率を下回っていた。取り組みとして、国保ヘルスアップ事業を導入し受診率向上に取り組んできている。また、市民の健康づくりへの動機づけや、楽しみながら健康習慣を身につけるきっかけになることで受診率向上につなげるた

め、ポイントを付与し、得点と交換する健康マイレージも実施している。

平成29年度から受診率向上対策とタイアップして取り組んだことにより、市全体の受診率は、平成28年度の40・6%から、30年度47・9%と7・3ポイント上昇する見込みである。市内全域で受診率が向上していることから、健診受診の動機づけとしての役割を果たしたと考えている。

今後は、受診率が向上したことに伴い、医師会、専門家、健康づくり推進協議会など関係機関から意見を伺い次のステップに向けた取り組みを検討する。



田口 一男 議員

問

高齢者が安心してできる
運転免許証返納の環
境づくりと難聴障がい者へ
の難聴度表示や日常会話へ
の補聴器補助の考えは。高
齢者や身障者による2階以
上の施設利用の対応は。

答

市長 農村や中山間
地域では、日常生活
で自家用車が手放せない方
も多く、高齢ドライバーの
居住地や生活形態を十分把
握した上で電動車椅子への
補助や地域での委託交通な
ど、様々な観点から二ス

高齢者・身障者等の支援について

岩手県等と連携しヘルプマークの普及を図る

に合わせ検討する必要がある。これまで障がい者の
方々に思いやりある行政を
促す表示として各種身体障
がい者聴覚障がい者の標識
による取り組みなど、外見
から分かりにくい方が必要
な配慮を受けられるヘルプ
マークを開始してきた。平
成18年度施行された高齢
者・障がい者等の移動等の
円滑化促進に関する新法で
は基準の適合が義務付けら
れている以外に努力義務と
なっている。市が保有、管

理している158施設内
には92の不特定多数利用想定
施設があり、2階建て以上
の18施設内の7施設にエレ
ベーターを設置、エレベ
ーターが未設置の総合スポ
ーツセンター、浄法寺文化
交流センターなど11施設は
法施行前に建築されたもの
で該当基準外となっている。
今後、新たな施設を整備す
る際は高齢者、障がい者に
配慮する対応をしたい。



ストラップ型ヘルプマークを配付しています

農業次世代人材投資資金

問

FTAの基本合意の
中で農業次世代人材
投資資金の削減の動きがあ
るが、影響と市の支援は。

答

市長 政府は9月下
旬に日米FTAの締
結を目指しているが、貿易

交渉の合意がされても、T
PP、EPAの際の考え方
と同様に取り組む。市は年
度開始から平成30年度まで
経営開始型の29名に交付し
新規就農に寄与した。継続
交付の6名分については県
へ6月に交付申請し、7月
に満額交付決定された。今
年度新規に就農の3名は6
月に青年等就農計画を認定
し、県に交付申請を予定し
ている。追加申請とおり決
定されるかは不透明な状況
である。交付額が減額とな
った場合は経営に支障をき
たし営農が継続できないこ
ともなうが、今後の
新規就農者確保にも影響す
る。国、県等に対し強く要
望する。



小田島 行伸 議員

問

旧岡本小学校跡地に
ついて以前は道の駅
構想や地域交流センター等
の計画があったが、今後は
どのような利用や計画を考

旧岡本小学校の跡地利用について

公民連携による計画の策定が重要

設の利活用と運動して浄法
寺総合支所方面の小さな拠
点づくりと共に関連けなが
ら町中に人が流れていくよ
うに事業を考えている。

更に高めるために隣の八
幡平市と共同で日本遺産
への認定を目指していき
たい。

問

本年4月より浄法寺
診療所運営体制の変
更により応援医師の診察が
行われている。月曜日水曜
日は午後からの診察、火曜

てきたが常勤医師の確保には
至らず、本年4月からの診察
が危ぶまれる事態になってい
たが幸いにも二戸医師会や県
立三戸病院、岩手医科大学や
多くの医師の理解と協力を得
て変則的な診療時間とはなっ
ているが診療の継続ができた。
医師が都市部に集中するなど、
全国的に医師偏在が問題とな

えているのかを伺う。

答

市長 旧岡本小学校の跡地を含む天台寺周辺地域は、金田一温泉地域、九戸城跡地域と並ぶ重点地域として位置づけている。日本一の漆の生産地や天台寺等の背景を最大限に活かしながら歴史民俗資料館、収蔵庫、滴生舎等の施

地域の方々が守り育てきた地域の宝を、時代の変遷に合わせてどう未来に繋げていくかを公民連携により作り上げていくことが重要と考えている。天台寺保存修理工事も10月で完了し、重要な価値を持つ文化財としての魅力を漆と共に発信していく。エリアの価値を



旧岡本小学校校舎

常勤医師の確保について

日は午前からの診察、木曜日金曜日は全日の診察となつた。常勤医師の確保についての進捗状況を伺う。

答

市長 平成30年に樋口先生から退職の申し出を受けて以来、県や国保連を始め二戸医師会や当市に縁のある医師等にお願いをして医師の確保に努め

る中で、医師の確保は岩手県全体の問題となっており浄法寺診療所に迎えるべき常勤医師については、地域に根ざした地域医療の充実に力を注いでくれる方を念頭に二戸医師会、県立二戸病院の先生と相談しながら県や国保連とも連携を図り期待に沿えるよう努力しているところである。

市としてドローンの活用を考えは

ドローンは広い分野での活用が有効



新畑 鉄男 議員

問 ドローンの活用が広まっているが市としてはどのような活用を考えているか。また、ドローンの操縦資格を有している人数はどの位か。

答

市長 ドローンは幅広い分野での活用が広まっており災害発生時の上空からの撮影による被害状況の把握や災害時の孤立集落等への物資の輸送、農業分野では農薬散布用ドローンの活用があり、林業の分野でも人や車が入って行

農作物の収穫状況

問

異常気象による農作物の状況が心配されるが稲作、果樹、野菜などの収穫状況はどうか。

答

市長 今年に限らず近年の異常気象は農業にとって厳しい状況にあるが稲作は、やや良と見込



ドローンでの薬剤散布の様子
(浄法寺川又地区営農組合)

飲食店、小売店の現状

問

大型店の進出により市内の飲食店、小売店にも影響があると思われる

答

市長 市内の現状で飲食店は135店、小売店は328店で、5年前と比較すると47店減少している。二戸市商工会と商工観光流通課は、事業者の後継者の有無や今後の事業展望等を調査しており、補助事業の実施を希望する事業者の要望に繋がる等の成果も出ている。今年度は238店舗を巡回して、消費税増税に伴う軽減税率への対策状況やキャッシュレス決済への対応を聞き取りして、今後の施策に活かしたい。



高村 人司 議員

問 小中学生の活躍に対する報奨制度について伺う。

答 市長 文化、芸術、学術、スポーツの分野で輝かしい業績をおさめた方々を広報などにより功績を紹介している。特に全国大会などで優秀な成績をおさめた方々は市の表彰基準に即し、市政功労者として表彰している。

答 教育長 新聞社、マスコミで取り上げていただくよう取材依頼や情

小中学生の活躍に対する報奨制度について

新たな制度は創設せず現行の支援を続ける

答 市長 市が管理している記念碑等は265カ所ある。これらに

関しては定期的に点検を行い、危険性のあるものに関しては周囲に立入禁止の措置を講ずるなど、適切に対応していきたいと考えている。また、長嶺にある武道館脇の馬魂碑のように、場所

は市のもの、建物は他の方が建てたものの場合、破損していても市としての対応は難しいが所有者が分かれば連絡をして対応をお願い

する。また地元の方々が必要と思うのであれば助成金等を活用して修繕等を行う方法もある。

石碑の管理について

問 市内のさまざまな記念碑、石碑、銅像の管理について伺う。

答 教育長 教育委員会所管分に関しては、学校敷地内に多いことから安全面には十分に注意し、適切に管理したいと



市武道館脇にある馬魂碑の階段部分が破損している

考えている。

町内会等と行政の関わり

問 町内会、自治会と行政の関わりについて特に高齢化対策について伺う。

答 市長 これは地域で各学校によると思うが、一人暮らしの老人の所の雪よけをしているところもある。また、保健委員

民生委員の方々にはお年寄りのところを回っていたりしているのが実情。これからも地域づくり計画を見直しながら地域と関わっていきたくと考えている。また、地域の課題等は町内会長さん等には把握していた



畠中 泰子 議員

問 問題だらけの幼児教育・保育の無償化への対策では宮古市、九戸村等のように本市も完全無料化すべきでは。

幼児教育・保育の無償化への対策は完全無料化を

子ども・子育て支援計画で総合的に検討を進める

検討を進めたい。

子どもの医療費助成拡充

問 県が中学校まで現物給付で医療費助成を

に不利益を及ぼすことのないよう一定の水準を維持することも必要と認識する。

問 子育て世代の本市の子育て支援策について

暑さ対策

問 学校環境衛生基準で望ましい温度は17度から28度である。公民館や

支所、出張所、児童クラブ

答 教育長 浄法寺カシオペアセンターの3室にエアコンが設置され他の公民館は扇風機を使用し、風通しを良くするよう工夫などをしている。

公民館へのエアコン設置は市の他施設の状態や優先度を勘案し、判断していく必

議会活動の報告（8月から10月）

8月23日
二戸市・三戸町・田子町議会議員
協議会 役員会、監査

8月27日
議会運営委員会
令和元年8月臨時会（第2回）

9月3日
総務常任委員会
文教福祉常任委員会
産業建設常任委員会
会派代表者会議
新人議員勉強会

9月6日
会派代表者会議
議会運営委員会

9月10日～10月2日
令和元年9月定例会

9月10日
市政調査会役員会

9月17日
市政調査会総会

9月18日
議会改革推進協議会
議会改革検討委員会

9月19日
広聴広報委員会広聴部会

10月1日
広聴広報委員会広聴部会

10月2日
議会運営委員会
市政調査会役員会
広聴広報委員会広聴部会

10月16日
議会改革検討委員会
二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会
総会

10月21日
カシオペア連邦議会議員協議会役員会

10月28日
議会運営委員会

令和元年10月臨時会

10月30日～11月1日
文教福祉常任委員会管外行政調査

答

市長 子育て支援は、保育料の無償化や軽減だけではなくと考える。

子育て支援に関するニーズ調査の子育て世代の意見を踏まえつつ、今年度策定する第2期二戸市子ども・子育て支援計画の中で子育ての経済的・精神的負担感の軽減を図るため、総合的に

答

市長 400万円の新たな財源が得られると見込む。国において医療費助成制度を創設するよう要望しているところではあるが、県内他市町村に比べ著しく低い水準で市民

拡大した場合の市の負担減額は。市独自の拡充についての見解は。

答

市長 効果的で本当に子育てに必要なものを優先順位をつけながら対応していきたい。

での評価は、満足11%、不満36%で不満が増えている。経済的負担軽減を。

答

市長 出張所は扇風機の利用や窓を開けて風通しを良くするなどの対策を行い、児童クラブは扇風機の利用と暑い日には激しく体を動かす活動をし

等にはエアコン設置が必要ではないかと考えている。



室温が36度を超えその後37度にもなった仁左平児童クラブ

要があると考えている。



ご意見箱

このコーナーでは、クイズにご応募いただいた皆さまから寄せられたご意見などをご紹介します。

はじめて議会だよりを熟読させてもらいました。長年に渡って市議の職にご尽力された皆様に感謝したいと思いました。約半世紀に渡り市議を務められた方がいた方に驚きました。（福岡・29歳 男性）

予算ある中でのお仕事で沢山の市民からの要望があると思いますが、どうかこれからも、私達の為にお仕事頑張ってください。（安比・57歳 女性）

声のひろばに掲載された、高齢者の交通事故に思うを読んでも、同感しました。この9月に60歳を迎える私も視力低下、体の動きも鈍くなってくるのを実感し、免許証返納は早めにと考えています。（石切所・59歳 女性）

プロイラー産業、全国トップクラス、二戸産をもっと、もっとアピールして、二戸を、盛り上げてください。（仁左平・26歳 女性）

議会は、傍聴した事はありませんが、議会だよりを見る事で、どんな事が議題となっているかなど、知る事ができています。（仁左平・52歳 女性）

（仁左平・52歳 女性）



人が集まる魅力ある まちづくりに期待

おおもり だか ゆき
大 森 貴 幸 さん
昌 美 さん



私たち家族が実家の家業を継ぐ為に、仙台市から浄法寺町に引っ越してきて5年目になります。こちらでの生活にも慣れてきた今、気がかりは地域の児童数が年々減少していることです。このままでは子どもたちが大人になる頃には町の活気が失われ、地域特有の文化や伝統が途絶えてしまうだけでなく、日々の生活の維持も難しくなっていくのではないかと心配です。

浄法寺町には豊かな自然や産業など、アピールポイントがたくさんあると思うので、是非その魅力を内外に発信して、子育て世代の方々のUターンやIターン、そして観光目的で訪れる人々が増えるような活気あるまちづくりを期待しています。

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介します。掲載を希望する方は、お気軽に二戸市議会事務局へご連絡ください。

よく読めば答えが見つかる！

議会だよりクイズ

下の●に当てはまる○○を入れてください。

「平成30年度一般会計歳出額は、
●●●億4,042万円です。」

■ 応募方法 クイズの答えと住所、氏名、年齢、議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想などを必ずご記入のうえ、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。正解者の中から抽選で5人に二戸市共通商品券1,000円分をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※ご意見等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。(氏名非公開)

■ あて先 〒028-6192 二戸市福岡字川又47 二戸市議会事務局 議会だより係／FAX:0195-23-1633／メール: gikai@city.ninohe.iwate.jp

■ 締切 令和元年12月20日(金) ※当日消印有効

(前回の答え…「二戸市はガボン共和国とのホストタウン交流事業を行います」
応募者14人、うち正解者数14人でした。)



12月定例会を 開催します

議会を傍聴 してみませんか

今回の定例会は、12月5日(木)に開会の予定です。
詳しい日程につきましては、二戸市議会ホームページでご確認いただくか、
議会事務局までお問い合わせください。

本会議は当日の受付で傍聴できます。傍聴を希望する場合は、議会開催日に市役所3階へお越しください。車椅子をご利用の方も傍聴可能です。

また、市役所および浄法寺総合支所の1階ホールでは、テレビで議会中継を見ることができます。 ※9月定例会の傍聴者は62人(延べ)でした。

広聴広報委員会	
委員長	内沢 真 申
【広報部会】	
部会長	田口 一 男
副部会長	小田島 行 伸
委員	高 村 人 司
委員	菅 原 恒 雄

(田口 一男 記)

技術革新が日進月歩する中で、言葉も変化し、カタカナ語、外来語、略語などが新語として議会内にも氾濫しています。

某放送局の行政用語の番組で、新規事業名の立案の際、省庁の関係職員は事業名をカタカナ語等に変えることで新鮮さを出しているとのこと。漢字一字に意味が凝縮している日本語を大事にし、分かり易く親しまれる「議会だより」を新メンバーでお届けします。

編集後記

二戸市議会のホームページ(市ホームページよりアクセス)
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/gikai@city.ninohe.iwate.jp>

右のQRコードからホームページにアクセス
できます→

